

授業科目名	看護技術Ⅱ			担当教員	小手川 良江、隈井 寛子	
開講年次	2年前期	セメスター	3	時間数(単位数)	45 (2)	
必修選択	必修	授業形態	演習	使用教室		
授業の目的	健康障害を持った対象者に対して、個別状況を考慮した看護技術を習得する。					
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 個別状況を考慮した看護技術の意義と必要性を説明できる。 2. 対象および看護者の安全を守る技術の必要性とその基本を説明できる。 3. 感染予防技術を理解し、基本技術を実施できる。 4. 与薬・活動・休息・食事・排泄・清潔について、原理原則に基づきながら個別状況を考慮した看護技術を実施できる。 5. 実施した看護技術を評価し、その内容を記述できる。 					
授業計画						
回	授業内容	授業方法	学修課題 (予習・復習)	取組時間	担当者	
1	概論 治療過程を支える看護技術の 意義と安全を守る技術について 感染防止の技術1 スタンダードプリコーション	講義 演習	予習：スタンダードプリコーションについて教科書を熟読し、実施できるようにポイントをまとめる。テキスト② p423-435,p452-453	60分	小手川	
2						
3	感染防止の技術2 無菌操作	講義 演習	予習：無菌操作について教科書を熟読し、実施できるようにポイントをまとめる。 テキスト② p436-451	60分	小手川	
4						
5	技術まとめ 無菌操作フィードバック	演習	復習：無菌操作、滅菌手袋の着脱について練習する。	60分	小手川	
6	技術試験1：無菌操作	演習	復習：無菌操作、滅菌手袋の着脱について練習する。	60分	小手川	
7	感染防止の技術フィードバック 与薬の技術1 経口与薬、吸入、点眼、点鼻、 経皮的与薬、直腸内与薬	講義	予習：与薬の技術について教科書を熟読し、ポイントをまとめる。 テキスト② p286-301	60分	小手川	
8	与薬の技術2 注射（皮下・皮内・筋肉内 注射 静脈内注射）	講義	予習：注射について教科書を熟読し、ポイントをまとめる。注射に関連した人体の構造と機能（皮膚、筋肉、血管、神経など）についてもまとめる。 テキスト② p301-331	60分	小手川	
9	与薬の技術3 注射器の取り扱い アンプル・バイアルの吸い上げ 点滴静脈内注射の準備、管理	講義 演習	予習：注射器の取り扱いについて熟読し、ポイントをまとめる。 点滴静脈内注射の準備・管理についてまとめる。 テキスト② p301-331	60分	小手川	
10						
11	活動・休息援助技術 身体可動制限のある対象への 車椅子移乗援助、安楽への 援助	講義 演習	予習：車椅子への移乗、苦痛緩和・安楽確保の技術（体位保持）、褥瘡予防について教科書を熟読し、技術のポイントをまとめる。テキスト② p94-122,277-28	60分	隈井	
12						

13	食事援助技術 身体可動制限のある対象への 食事援助	講義 演習	予習：栄養状態および食欲・摂食能力アセスメント、食事介助について教科書を熟読し、技術のポイントをまとめる。 テキスト② p26-47	60分	隈井	
14						
15	排泄援助技術 身体可動制限のある対象への 排泄援助 ポータブルトイレでの排泄援助 おむつ交換・陰部洗浄	講義 演習	予習：おむつ交換・陰部洗浄について教科書を熟読し、実施できるように技術のポイントをまとめる。テキスト② p58-73,185-188	60分	隈井	
16						
17	清潔・衣生活援助技術1 身体可動制限のある対象への 清潔援助 (寝衣・シーツ交換、おむつ 交換、全身清拭、陰部洗浄)	演習	復習：寝衣・シーツ交換、おむつ交換、全身清拭、陰部洗浄について復習し、実施できるように技術のポイントをまとめる。	60分	小手川 隈井	
18						
19	清潔・衣生活援助技術2 身体可動制限のある対象への 清潔援助 (寝衣・シーツ交換、おむつ 交換、全身清拭、陰部洗浄)	演習	復習：寝衣・シーツ交換、おむつ交換、全身清拭、陰部洗浄について復習し、実施できるように技術のポイントをまとめる。	60分	小手川 隈井	
20						
21	技術試験2：身体可動制限のある対象への寝衣・シーツ交換、おむつ交換、全身清拭、陰部洗浄 清潔・衣生活援助技術フィードバック	演習	復習：寝衣・シーツ交換、おむつ交換、全身清拭、陰部洗浄について練習する。	60分	小手川	
22						
23	試験に対するフィードバック	講義		60分	小手川	
先行履修科目						
テキスト		①茂野香おる 他：専門分野1基礎看護学〔2〕基礎看護技術Ⅰ。医学書院，2015。 ②任 和子 他：専門分野1基礎看護学〔3〕基礎看護技術Ⅱ。医学書院，2017。				
参考文献		適宜示す				
科目の位置づけ		看護技術Ⅰで学んだ基本的な看護技術を応用し、健康障害を持った対象者の個別性を考慮した看護技術を実施できることが求められる。講義演習で学んだ基礎的知識と技術・態度は2年前期の「看護過程の展開実習」の際に活用することが重要である。				
ディプロマポリシーとの関連		人間の尊厳と権利を擁護する力	自己教育力	チームで働く力	問題解決力	看護の専門性を探究する力
					◎	○
評価方法		筆記試験（70%）、技術試験（20%）、授業・演習態度・提出課題（10%）				